

令和5年度

児童発達支援自己評価・集計結果

事業者向け

14部配布した結果、14部の回答あり（回収率100%）

（管理者・児童発達支援管理責任者・保育士・児童指導員・厨房職員・運転手）

西北五広域福祉事務組合
ステップアップセンターもりた

事業者向け 児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	事業所で決めた改善策・今後に向けて
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 静の課題、動の課題を分けて行える空間（指導訓練室、地域療育等支援センター等）が確保されている。 ・ 個室や訓練室等、行う活動に合わせた支援が出来るスペースを確保している。 ・ 指導訓練室等のスペースは十分な広さがある。 ・ 動の活動、静の活動を分けて行えるスペースがある。 ・ 個室に加え、集団で利用できる訓練室や隣接している西北五地域療育等支援センターが使える。 ・ 落ち着いて課題に取り組める指導訓練室が複数ある。 ・ 適切である。 ・ 現在の定員に対してスペースは十分確保されている。また、活動内容に合わせて指導訓練室や広めの指導室等を活用できる。 	複数の指導訓練室があり、個々に合わせた活動が出来る環境となっています。今後もグラウンドや畑を活用しながら、四季を感じられる活動を取り入れます。
	②	職員の配置数は適切であるか	1	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用児童1名に対して、1名もしくは2名の支援者が配置出来る環境を整えている。 ・ 職員の配置数は国の基準を満たしている。 ・ 国の基準を満たしている。 ・ 適切である。 ・ 管理者、児童発達支援管理責任者の他に支援員が十分に配置されている。 ・ 国の基準を満たしている。 ・ ガイドラインの基準を満たしている。 ・ 利用定員に対しての職員数は十分確保されている。また、個別課題では2名以上のスタッフで支援出来る体制となっている。 	国が定める基準を満たす人員が配置されています。その中で、職員1人1人のスキルの向上を目指します。

	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	1 4	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ、洗面所等のピクトグラムが示され、見て分かりやすい環境となっている。 ・事業所内はバリアフリーとなっている。 ・事業所内は、バリアフリーとなっている。 ・小さな段差はあるが、ほぼバリアフリーである。トイレ等は視覚的に分かりやすいようにしている。 ・目で見えるように課題を行う場所が固定化されている。ただ、カバンを置く場所は個別ではなく複数で使っている。また、館内は全てバリアフリーになっている。 ・利用者がわかりやすいようにイラストや写真を用いています。その他事業所内は全館バリアフリーとなっています。 ・事業所内は全てバリアフリーとなっている。 ・事業所内は全館バリアフリー化となっている。ただ、障害の特性に応じた構造化や情報伝達への配慮は今後工夫が必要だと感じる。 	利用者が分かりやすいように、イラストや絵カード、写真等を用いて構造化を図っています。現在は1つのロッカーを複数人で使用していますが、今後はロッカーを個別にして対応します。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	1 4	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日清掃、消毒を行っている。 ・毎日、部屋の消毒を行っている。 ・毎日、館内消毒と清掃を行っている。 ・日々清掃、消毒をしている。 ・心地よく過ごせる環境を整える様になら、活動に合わせた空間を確保している。 ・毎日の清掃や感染症対策の為、消毒を行っています。 ・毎日清掃が行われ、整理整頓を行っている。 ・パーテーション等を活用しながら、活動内容に合わせて空間を設定している。 	毎日の清掃に加え、管内消毒も実施しています。今後も心地よく過ごしてもらえるように、こまめな清掃を心掛けていきます。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	1 4	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的にチームの職員で話し合い、決定事項を情報共有している。また、気付いた点等は直ぐに伝えるようにしている。 ・ミーティングやチーム会議等を行っている。 ・日々のミーティングやチーム会議で情報を共有している。 ・日々のミーティングの他、気付いた点等については適宜行っている。 ・広く参画できるようにミーティングやチーム会議を活用している。実施回数については検討課題だと思う。 ・チーム会議やミーティングを実施し、参画している。 ・ミーティングや会議の他にも気付いた時に意見を交えている。 ・業務についてはミーティングで意見を出し、その都度改善を図っている。また、実施した結果や振り返りも行うようにしている。 	PDCA サイクルに沿ってミーティングや会議を実施します。その中で、職員全体が参画出来るような環境も整えていきます。

⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	14	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方へ配布し、集計した評価表を基に改善策検討会議を実施し、業務改善に繋がるようにしている。 ・保護者向けの評価表を基に話し合いを行っている。 ・保護者からの自己評価を参考にして業務改善につなげている。 ・評価を集計、把握する事で改善につなげられるようにしている。 ・保護者向け評価表を活用しながら、保護者の意見を把握し、業務改善に繋げられるようにしている。 ・評価表を集計しその結果を基に会議を実施しながら、業務改善につなげている。 ・つなげている。 ・保護者向け評価表は毎年実施し、全職員で改善策を検討している。 	保護者向け自己評価表を集計した後に、改善策検討会議を実施しながら業務改善につなげています。
⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	14	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、年度末に当組合のホームページで公開している。 ・ホームページに公開している。 ・ホームページで公開している。 ・集計後、全職員で会議を実施し、結果についてはホームページで公開している。 ・年度中にホームページで公開する。 ・集計結果を基に会議を実施し、その結果をホームページで公開している。 ・評価表の集計後は全職員で改善策検討会議を実施し、その内容をホームページで公開している。 	自己評価の結果については、2月にホームページで公開します。
⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	8	<p>6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣保育園等が交流事業で来訪した際、アンケートを配布し、その意見を基に業務改善へ繋げている。 ・今年度から第三者委員を設置している。 ・実施していない。 ・現在行っていない。 ・専門的な外部評価は予算の都合もあり実施できなかったため、交流事業（サクランボ狩り・栗拾い）に参加した方を第三者に捉えてアンケートを実施した。支援者の対応に関しては良いとの評価を受けている。 ・交流会に参加して頂いたこども園等の職員にアンケートを実施。その結果を基に業務改善につなげている。 ・現在は行っていない。 ・今年度は、さくらんぼ狩り交流会で招待した地域の保育施設や小学校の教職員を対象にアンケートを実施し、その結果を事業所の外部評価と捉えている。 	今年度は交流会に参加していただいた事業所職員にアンケートを配布し評価をしていただきました。次年度以降も継続しながら、更に外部評価に繋がる内容を検討していきます。

	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	1 4	<ul style="list-style-type: none"> 外部研修、内部研修を実施している。 外部や内部研修に参加している。 外部研修やオンライン研修に参加している。 参加している。 外部研修の他、1月には西北五広域福祉事務組合で行う合同の園内研修を確保している。 内部研修、外部研修に参加している。 確保され参加している。 内部研修の実施や外部研修にもそれぞれの職員が参加している。 	内部研修も含め、職員全員が研修に参加しています。今後も研修に参加しながら職員のスキルアップを目指します。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	1 4	<ul style="list-style-type: none"> アセスメントシートを使用してアセスメントを取っている。また、保護者や利用児童の要望を聞きながら、個別支援計画を作成している。 アセスメントを基に支援計画を作成している。 アセスメントを行い、子どもに合わせ、保護者のニーズに沿った計画をしている。 アセスメントを基に、本人・保護者のニーズを踏まえて計画している。 利用者と保護者のニーズを確認した上で、子どもの成長段階に合わせた無理のない計画を作成している。 支援計画作成にあたり、アセスメントを基に保護者のニーズを確認している。 アセスメントを基に、計画の作成を行っている。 児童発達支援管理責任者のもと、アセスメントは担当職員が行い、計画作成の際は会議を実施しながら客観的な分析を行っている。 	支援計画作成の際は、利用者と保護者のニーズを確認し、その内容を計画書に記載しています。その中で、利用者に対するニーズの聞き取りは障害特性や発達年齢を考慮しながら個々に合わせた形で行っています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1 4	<ul style="list-style-type: none"> 事業所で統一されたアセスメントシートを使用している。 事業所で作成しているアセスメントシートを使用している。 アセスメントシートを使用している。 事業所内共通のアセスメントシートを活用している。 使用している。 標準化されたアセスメントツールを使用している。 書類系を中心とした事業所独自のアセスメントツールを使用している。 事業所で作成したアセスメントシート（未就学用）を使用し、個別のアセスメントを行っている。 	標準化されたアセスメントシートを利用し、利用者の適応行動の把握を行っています。

⑫	<p>児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもへの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか</p>	1 4	<ul style="list-style-type: none"> ・個人に合った支援目標を設定し、目標に向けた支援を設定している。 ・利用児童に合わせて支援内容を設定している。 ・ガイドラインを参考にしながら、支援計画を設定している。 ・ガイドラインを基本に、本人・保護者の意向や要望を取り入れながら設定している。 ・定期的にガイドラインに目を通し、必要な項目を選択する中で具体的な支援に繋がられるようにしている。 ・ガイドラインを確認しながら支援内容を設定している。 ・ガイドラインを参考にしながら支援内容を組み立てている。 ・個々に合わせた形で必要な項目を選択し、個別支援計画を作成している。 	<p>今後もガイドラインを確認しながら具体的な支援内容を設定するように努めます。</p>
⑬	<p>児童発達支援計画に沿った支援が行われているか</p>	1 4	<ul style="list-style-type: none"> ・支援目標を振り返り確認している。また、活動の目的について、確認している。 ・支援計画に沿って支援内容を組み立てている。 ・支援計画に沿った支援が行われている。 ・計画に沿いながらも、楽しんで行える活動内容を目指している。 ・支援計画からそれそうになっている時点で、修正箇所を伝えながら支援に繋がっている。 ・支援計画に沿いながら楽しんで行える活動内容をプログラムに取り組んでいます。 ・計画を基にプログラムの作成を行っている。 ・計画に沿って支援を行っていると思うが、担当者は定期的に計画と支援内容の照らし合わせや振り返りをする必要があると感じる。 	<p>今後も個々の支援計画に沿った支援をしていきます。その中で楽しみながら取り組んでもらい、出来る事が増えるように支援していきます。また、日頃から支援計画の内容を職員間で確認が出来る方法を検討します。</p>
⑭	<p>活動プログラムの立案をチームで行っているか</p>	1 2	2 <ul style="list-style-type: none"> ・チームの職員が話し合っている。 ・プログラムの立案は個人で計画し、チームで確認し合っている。 ・主担当がプログラムを作成し、課題を行う前に副担当と確認を取っている。 ・全体の流れについてはチームで立案しているが、個々のプログラムに関しては主に担当が行っている。 ・主担と副担が立案をし、職員全員がチームとして行っている。 ・児童発達支援を担当する職員が確認しながらプログラムを立案しています。 ・行事に関しては係が充てられている為係で行っているが、個別プログラムに関しては個人で行っている。 ・複数の保育士がチームとなってプログラムの作成を行っている。 	<p>今後は更にチームでの立案を心掛け個々に合ったプログラム作成に努めます。</p>

⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	1 4	<ul style="list-style-type: none"> ・ チームで話し合って工夫している。 ・ 同じ内容にならないように工夫している。 ・ 固定化しないようにプログラムを作成している。 ・ 計画に沿いながらも、同じ内容にならないように工夫している。 ・ 固定化しないように、また、利用者の能力に合わせた楽しめるプログラムとしている。 ・ 児童発達支援を担当する職員が工夫している。サブ担当とも確認しながら工夫している。 ・ 本人の好きな活動ややるべき活動等、様々組み合わせを変えている。 ・ 固定化しないように組み立てを行っていると思うが、子どもが楽しめる活動の提供はもう少し工夫しても良いのではないか。 	支援内容を振り返り、個々に合った内容で固定化しないように工夫しながら支援を提供します。
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	1 4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者や利用児童のニーズを組み込みながら個別支援、集団支援を設定している。 ・ 子どもの特性や状況に応じて個別活動と集団活動を組み合わせている。 ・ 子どもの状況に応じた活動を作成し、組み合わせている。 ・ 状況や特性に応じて組み合わせるようにしている。 ・ 利用者の状況に応じた個別活動と集団活動を組み合わせて計画を作成している。 ・ 子どもの状況や特性を考慮しながら計画を作成している。 ・ 状況に応じて組み合わせている。 ・ それぞれの児童に合わせて、集団活動や個別活動を組み合わせて計画を作成している。 	今後も個々に応じて、個別課題と集団活動を適宜組み合わせた支援計画の作成に努めます。
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	1 0	4 <ul style="list-style-type: none"> ・ 出来ていない時もある為、今後は支援の狙い、目的等情報を共有しながら取り組めるようにしていきたい。 ・ 打合せしていないことがある。 ・ 支援に入る日には、当日のプログラムを見ながら確認している。 ・ 作成したプログラムを書面で確認する事が多い。 ・ 必ずしもしている訳ではない為、役割分担が決まっていない。 ・ 主担と副担で確認し合っている。 ・ 事前に何を行うか等の相談や確認を行っている。 ・ 打ち合わせをする時間の確保は今後必要だと感じる。その際は、時間に余裕を持って行う必要がある。 	今後は打ち合わせの時間を確保し、継続して個々に合わせた支援を提供します。

⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1 1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・出来ていない時もある為、今後は行えるようにしていきたい。 ・支援内容について気付いた点等があれば話している。 ・その日の様子を主担当と話し、振り返るようにしている。 ・終了時間が遅くなった時は翌日に持ち越す。 ・必ず行っている訳ではない事を反省している。実施していく中で支援の振り返りを行う必要がある。 ・業務日誌を確認し、気付いた点を共有したり、ミーティング等で話し合いをしている。 ・気付いた点は振り返りを行っている。 ・支援の振り返りは担当のみではなく、サブやその他の職員とも行う必要があるのではないか。 	今後も課題や様子について、職員間での振り返りを行いながら共有していきます。
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	1 4		<ul style="list-style-type: none"> ・良い姿ばかりではなく、気になる姿等も情報共有しながら支援している。 ・業務日誌にその日の活動や様子について記載している。 ・業務日誌に記録し、情報を共有している。 ・不適切行動についても正しく記録し、情報を共有している。 ・全員ではない。 ・利用者の行動を正しく記録する中で、次の支援に繋げている。 ・少しの変化や気になった点を主担当に報告し、振り返りを行うことで支援の検証、改善につなげている。 ・業務日誌やサービス提供記録に記載し、つなげている。 ・支援中の様子や気になる部分等はプログラムに記録し、担当職員へ渡している。 	今後も正しい記録を徹底し、支援の検証や改善に繋げていきます。
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	1 4		<ul style="list-style-type: none"> ・半年に1度は見直し会議を実施し、支援目標の見直しを行っている。 ・定期的にモニタリング会議を行っている。 ・定期的にモニタリングを行い、判断をしている。 ・全職員でモニタリング会議を行い、判断している。 ・利用者の能力に合わせた支援を行いながら、支援不足を含めた中で必要性を判断している。 ・全職員でモニタリング会議を行い意見交換することにより、計画の見直しを行っている。 ・定期的に見直し会議を行い、意見交換をして見直している。 ・職員全体でモニタリングを行い、計画の見直し以外に、支援内容の見直しも行っている。 	見直し会議（モニタリング）には全職員が参画しています。今後も継続しながら個々の計画の見直しを行います。

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	1 3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は実際に参画していないが、会議が開かれれば参加できる環境を整えている。 ・児童発達支援管理責任者が参画している。 ・児童発達支援管理責任者が参画している。 ・児童発達支援管理責任者が参画している。 ・状況に適した者が参画している。 ・サービス担当者会議は少ないが、相談支援事業所との連携は、児童発達支援管理責任者を中心に行っている。 	今後も会議の内容は職員間で共有出来るようにします。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	1 4		<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所を通して、地域の保健師と情報共有している。 ・保育園と連携を図りながら支援している。 ・保育園等と連携を取り、支援を行っている。相談支援事業所を通している。 ・園の担任と情報共有しながら支援している。 ・関係機関と連携を取りながら支援を行っている。 ・相談支援事業所を通して行っている。 ・保育園、こども園と連携しながら支援を行っている。 ・必要に応じて各関係機関の担当者や情報交換をしている。 	今後も関係機関と連携しながら、支援にあたります。
	㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	1 3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は実際に行っていないが、要請があればいつでも行える体制を整えている。 ・保育園への送迎時に情報を共有している。 ・必要に応じて情報共有を行っている。相互理解を図っている。 ・送迎時情報を共有している。 ・移行支援とまではいかないが、当事業所の保育所等訪問支援を利用しているので、そこで児童発達支援の支援内容の情報共有をしながら相互理解を図れるようにしている。 ・情報共有と相互理解を行っている。 ・送迎時や保育所等訪問支援で情報共有と相互理解を図っている。 ・就学の際は保育園等と情報交換をし、進学先や必要な情報について共通理解を図っている。 	移行支援会議は実施していませんが要請があれば対応出来る環境となっています。また、就学については保育園等と共通理解を図ります。
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	1 2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は実際に行っていないが、要請があればいつでも行える体制を整えている。 ・要請があれば、情報共有や相互理解を図っている。 ・保育所等訪問を行い、情報共有をしている。 ・主に養護学校を中心に行っている。 ・現段階で今年度は実施していない。 ・相談支援事業所を通して行っている。 ・主に養護学校との相互理解を図っている。 	移行支援会議は実施していませんが、要請があれば対応出来る環境となっています。

②5	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1 4	<ul style="list-style-type: none"> ・ ZOOM で研修を受け、復命書を回覧して全職員で共有している。 ・ 研修を受けている。 ・ 他の事業所と連携し、情報共有をしている。また、研修を受けている。 ・ 研修に参加している。 ・ 連携はしているが、センターからの助言や研修は受けていない。 ・ 現状報告や課題、共通認識を持ちたい事などの助言を受けた。 ・ 研修を受けている。 ・ 受けている。 ・ 他の児童発達支援センターが主催する研修への参加や、専門機関の職員が講師となっている研修で助言を受けている。 	他の児童発達支援センターが主催となっている研修へ職員が参加し、復命書を通じて情報共有しています。今後も必要に応じて、専門機関と連携していきます。
②6	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1 4	<ul style="list-style-type: none"> ・ さくらんぼ狩りや栗拾いの交流会を実施している。 ・ サクランボ狩り栗拾い交流会を通して交流している。 ・ サクランボ狩りや栗拾いの交流事業を行っている。 ・ 交流事業を実施している。 ・ 交流事業（サクランボ狩り・栗拾い）を通して機会を設けている。 ・ 交流事業（さくらんぼ狩り、栗拾い）を行っている。 ・ 交流会を行っている。 ・ さくらんぼや栗の収穫を通じ、地域の保育施設等と交流している。 	今後も継続して交流会を実施します。交流の様子は広報誌にも掲載していますが、連絡帳に写真を貼る等しながら保護者に広く伝えられるようにします。
②7	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1 4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当事業所の職員が児童・療育部会へ参加した後、全職員に復命書を回覧している。 ・ 主査児童指導員が参加している。 ・ 所長が参加している。職員が参加している。 ・ 必要に応じて児童発達支援管理責任者や同組合の職員が参加している。 ・ 代表者が参加している。終了後は必ず復命書を読んで内容を把握するようにしている。 ・ 職員が参加している。 ・ 適した者が参加している。 ・ 都合が合えば参加している。参加した際は情報を持ち帰り、職員間でも共有している。 	地域自立支援協議会には職員が参加し、地域の課題について職員間で共有し続けます。
②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	1 3	<p>1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童発達支援利用児童の担当がいないうえ、自分では行っていない。（デイサービスの児童には行っている。） ・ 連絡帳を通してその日の様子を伝えるようにしている。 ・ 連絡帳やサービス提供記録を通して情報共有している。児童発達支援の担当職員が対応している。 ・ 連絡帳や送迎時に状況を伝えている。 ・ 日頃から保護者に声を掛けるように心掛けている。その中で、子どもの発達の状況や課題について話しながら共通理解を持つようにしている。 ・ 連絡帳を通して情報共有をしている。 ・ 日頃の様子等を伝え、家庭での様子も聞いている。 	今後も共通理解を持てるよう、保護者と連携を取りながら、その時に必要な支援が出来るように努めます。

	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	1 3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援利用児童の担当がない為、自分では行っていない。（デイサービスの児童には行っている。） ・相談があった際には、その都度助言している。 ・上司へ報告、連絡、相談した上で保護者からの相談に助言している。 ・保護者から相談があれば、その都度助言等対応している。 ・気になる姿や問題行動があった場合には、対処方法や楽しんで子育てが出来るような助言をしている。 ・いつでも助言出来る環境となっている。 ・相談があれば上司に相談しながら助言を行っている。 ・家族支援プログラムとまではいかないが、相談等があればその都度対応している。 	ペアレント・プログラムに参加している職員がいるので、研修の開催を検討してみます。また、保護者の悩み等にはその都度対応していきます。
	③0	重要事項説明書、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	1 4		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時や問い合わせがあった場合、丁寧に行っている。 ・契約時に説明している。 ・契約時に説明している。 ・契約時に行っている。 ・保護者が理解しやすいような説明を心掛けている。また、随時問い合わせに応じられるように準備している。 ・契約時に丁寧な説明を行っている。 ・行っている。 	契約時に重要事項説明書、利用者負担等について丁寧な説明を行っています。
	③1	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	1 3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援利用児童の担当がない為、自分では行っていない。（デイサービスの児童には行っている。） ・丁寧に説明し、同意を得ている。 ・保護者に説明をし、同意を得ている。 ・説明し、同意を得た上で支援している。 ・計画書を示し、内容の説明をした上で、保護者から同意を得ている。 ・丁寧に説明をし、同意を得ている。 ・内容を説明し、保護者から同意を得ている。 ・支援計画を説明する際は、子どもの姿を考慮しながら、支援内容を丁寧に説明するようにしている。 	今後もガイドラインを基に、利用者の発達段階や特性を踏まえながら個別支援計画を作成し、丁寧な説明を心掛けます。
保護者への説明責任等	③2	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	1 3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援利用児童の担当がない為、自分では行っていない。（デイサービスの児童には行っている。） ・相談があった際には、上司に報告して助言をしている。 ・上司に報告した上で、保護者の子育ての悩み等に対応できるようにしている。 ・その都度助言し、必要であれば支援にも組み込むようにしている。 ・定期的に声を掛けながら、楽しんで子育てが出来るような助言をしている。 ・迅速、丁寧な対応を心掛けている。 ・上司に相談しながら行っている。 ・その都度、担当職員や児童発達支援管理責任者が対応し、事業所でも行える部分は支援に組み込んでいる。 	今後も定期的に保護者の悩みや不安を確認しながら、保護者に分かりやすい言葉で方法を伝えるようにします。

③③	保護者会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1 4	<ul style="list-style-type: none"> ・年4回保護者会を開催し、保護者同士の連携が取れる機会を提供している。 ・定期的に保護者会を開催し、日々の子育ての悩み等を話し合う場が設けられている。 ・保護者会や親子遠足等の行事への参加を募っている。 ・今年度4回の保護者会を実施している。 ・今年度は研修会を含め合計4回の保護者会を開催した。保護者会の時に、それぞれの家庭の様子を伝え合うことで参考にしてもらったり、仲立ちに入る事で気になる行動へのアプローチの仕方を伝え合えるようにしている。また、参加できなかった保護者には報告書を渡して内容を伝えている。 ・保護者会を開催した。 ・支援している。 ・今年度は内容を変えながら計4回の保護者会を実施。その中でグループ討議を行いながら保護者同士が無理なく意見を言い出せる場を設定している。 	今年度は合計4回の保護者会を開催しました。今後も定期的に保護者会を開催し、保護者同士の連携や情報交換が出来る機会を設けていきます。
③④	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	1 4	<ul style="list-style-type: none"> ・相談、申し入れはその都度聞ける体制を整えている。また、今現在苦情はないが、対応の体制は整えている。 ・対応できるような体制を整えている。 ・児童発達支援管理責任者に報告をし、適切な対応ができるようにしている。 ・体制は整っており、適宜対応するようにしている。 ・保護者から子育てに悩んでいるような内容の話が出たら、対処方法や楽しんで子育てが出来るような助言をしている。また、同時に支援に組み込むようにしている。 ・児童発達支援管理責任者が受付窓口となり対応出来る体制を整えている。 ・体制は整っている。 ・相談や申し入れ等があった場合は、すぐに対応出来る環境となっている。 	事業所の玄関には意見箱を設置し、苦情受付窓口には児童発達支援管理責任者を配置しています。今後も相談しやすい環境を整え、丁寧な対応を心掛けます。
③⑤	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	1 4	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の保護者会で、年間の行事予定をお知らせしている。広報誌は1月に発行予定である。 ・サクランボ交流会、栗拾い交流会等の様子を発行した。また、広報誌の発行も予定している。 ・年に一回広報誌を発行している。 ・今年度の広報誌を今後発行予定であり、その中に記載している。 ・予定表に行事を記入したり、広報誌を発行している。 ・当組合の広報誌を発行している。 ・森田学園、相談支援事業所もりたとの合同の広報誌を発行している。 ・会報については年に1回発行し、行事予定等は月の利用予定を通してお知らせしている。 	1月末に当組合の広報誌を発行し、保護者や関係機関に配布しました。また、行事予定については月の利用予定表を通して保護者へ発信し、活動概要についてはその都度文書でお知らせする事を継続します。

③⑥	個人情報の取扱いに十分注意しているか	1 4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人情報を扱うものは、事業所内で行っている。 ・ 十分注意している。 ・ 個人情報が記載された不要な書類はシュレッダーで破棄をしている。 ・ 事業所を出たら、個人情報は一切口にしていない。不要な書類はシュレッダーにかけて破棄している。 ・ 十分に注意している。 ・ 注意している。 ・ 個人情報の取り扱いについては、細心の注意を払っている。 	今後も個人情報の取り扱いには、十分注意します。
③⑦	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	1 4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分かりやすい言葉やイラストで伝えるように心掛けている。 ・ 言葉掛けに気を付けながら支援を行っている。 ・ 子どもの特性に配慮し、1人ひとりに合わせた伝え方を心掛けている。 ・ 特性を考慮し、支援している。 ・ 子どもには認識を共有できるように、写真やイラストを加えたものを提示している。保護者には実際に会った時や電話、連絡帳を介して伝達している。 ・ 子どもの特性に考慮しながら丁寧に分かりやすく対応している。 ・ イラスト等を用いて行っている。 ・ 利用する児童については、個々の特性や性格を考慮しながら関わる事を心掛け、保護者に対する情報伝達は丁寧さを心掛けている。 	今後も利用者に沿った形での意思の疎通や情報伝達に努めながら、保護者に対しても丁寧な対応を心掛けます。
③⑧	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1 4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣保育園等を招待し、交流事業を行ったり、近隣こども園の行事として、遠足の行き先として受け入れている。 ・ 地域の保育園を招待してサクランボ交流会や栗拾い交流会を開催し交流している。 ・ 地域の保育園等を交流事業に招待している。 ・ 地域の保育園等と交流事業を行っている。 ・ 感染予防の観点から行事は保護者を中心に家族のみに限定した為、地域住民まで招待する規模には至っていない。ただ、少しずつ行事の規模を大きくしている為、感染症が更に落ち着いた頃には招待できると思われる。 ・ 地域のこども園、小学校と交流会（さくらんぼ狩り、栗拾い）を行っている。 ・ 交流会を行っている。 ・ 感染症拡大防止の観点から、地域の人誰でも来られる行事の開催は控えている。ただ、規模を縮小しながらも保護者や関係機関を招いた行事は行っている。 	今後も職員間で意見を出し合いながら、よりよい形で地域住民を招待出来るような行事や活動を検討していきます。

	③⑨	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	1 4	<ul style="list-style-type: none"> 職員へは常に確認できる場所に保管している。保護者へは契約時や保護者会等で周知している。 マニュアルが策定されていて、いつでも確認出来るようになっている。 マニュアルを作成し、確認することができる。 マニュアルが策定されており、園内研修で確認している。 周知しているし、いつでも見られる場所に置いている。保護者には保護者会で伝えている。 いつでも確認出来るように保管している。保護者には保護者会で説明している。 それぞれのマニュアルがあり、想定した訓練も実施している。 各種マニュアルを策定し、定期的に見直しも行っている。感染症対策については、マニュアルの他に研修も実施している。 	職員間で各マニュアルを再確認し、緊急時や防犯、感染症に対して適切な対応が出来るようにします。また、保護者に対しては保護者会等を通じて、マニュアルを説明する機会を確保します。
	④⑩	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	1 4	<ul style="list-style-type: none"> 毎月避難訓練を実施し、その他、職員は毎月消火訓練を行っている。 毎月職員の消火訓練を行っている。また、利用児童は総合防災訓練を行っている。 毎月職員と一緒に避難訓練を行っている。毎月職員が消火訓練を行っている。 利用児童を対象として避難訓練、職員の消火訓練を月1回行っている。 利用者と一緒に毎月、避難訓練を実施している。 利用者の避難訓練の他に、職員は年2回総合防災訓練を行っている。 毎月避難訓練を実施している。 毎月避難訓練を実施している他、職員は消火訓練も実施している。 	毎月避難訓練を実施しています。また、職員は消火訓練や放送訓練を行い、非常災害の発生に備えています。
非常時等の対応	④⑪	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	1 4	<ul style="list-style-type: none"> 契約時に確認している。 契約時に確認をし、投薬についてもその都度保護者に確認をしている。 契約時に確認、その都度対応している。 保護者に記入してもらう家庭調査票に服薬や予防接種等を記入してもらい状況を確認している。 契約時に保護者に確認し、家庭調査票に記入をお願いしている。 契約時に確認。その都度変更等があれば対応している。 予防接種については家庭調査票に記載してもらっている。服薬やてんかん発作については、利用の際必ず確認している。 	服薬や予防接種等の情報を確認しながら、保護者との情報共有に努めています。

④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1 4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指示書を確認し、事業所のマニュアルに沿って対応している。 ・ アレルギーがある子に対して栄養士や厨房職員と連携を図り対応している。 ・ 栄養士や調理員と連携し、提供される食事も確認した上で、除去食にしている。 ・ 除去食を提供している。 ・ 名札の使用と受け渡しの際の声掛けを徹底している。 ・ 卵アレルギーを持つ利用者に対して誤食を防ぐため「完全除去食」とし、色の違う名札の利用や、調理後のラップをかける等原因物質の混入を防いでいる。 ・ 配膳も口頭で確認をし、常に留意しながら提供をしている。 ・ 食物アレルギーの利用者が1名いる。保護者から「保育園におけるアレルギー疾患生活管理指導票」を受け取り、それに沿って対応している。 ・ 厨房職員と連携を図りながら対応している。 ・ 対応がなされている。 ・ 厨房職員とも連携しながら食物アレルギーには慎重に対応している。 	食物アレルギーについては職員全体で把握し、栄養士や厨房職員と連携しながら進めています。今後も、アレルギーがある方については保護者と連携を図り、適切な対応に努めます。
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	1 1	3 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業所内でヒヤリハットは発生していないが、発生時は記録を残して全職員で共有し、再発防止に努める事になっている。 ・ ヒヤリハットを作成し、情報共有している。 ・ 報告書を作成し、再発防止に努めている。今年度は出ていない。 ・ 定期的に振り返りを行っている。 ・ ヒヤリハットの作成がない。 ・ 今年は作成していないが、発生時には作成して会議等で振り返りながら再発防止に努めている。 ・ 作成して共有している。 ・ ヒヤリハットが発生した場合は正確に記録し、職員全体で共有している。 	積極的にヒヤリハットを作成し、再発防止に繋がります。
④④	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	1 4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外部研修に参加した職員の復命書を回覧している。また、毎年職員会議で虐待に関して研修を行っている。 ・ チェックリストを記入し、虐待防止に活用している。 ・ セルフチェックリストを活用して記入している。 ・ 研修の他、セルフチェックリストを活用し自身の行動を振り返っている。 ・ 職員会議で虐待防止についての説明があった。また、障害虐待防止職員セルフチェックリストを活用しながら虐待防止に繋がっている。 ・ 虐待防止委員会を設置している。 ・ 行えている。 ・ 外部研修の他に、組合全体で内部研修も実施している。 	4月の職員会議で虐待防止についての話を取り上げ、職員間で確認しました。 12月には障害者虐待防止職員セルフチェックリストを活用して再確認をしています。

	<p>④⑤</p> <p>どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか</p>	1 2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・今現在対象児童はいないが、いた場合は対応できる体制は整っている。 ・現在、対象児童はいない。 ・今年度、対象児童はいない。 ・現在、対象となる児童はいない。 ・身体拘束が必要な子どもがいない。もし、必要になった場合には、組織的に決定しながら保護者の了解を得て、計画に記載する。 ・現在該当する利用者がいないが、今後該当する利用者がある場合には対応出来る体制をとっている。 ・現在は該当する児童はいないが、いる場合は記載している。 ・現在は対象となる児童はいない。 	<p>現在、該当者はいません。今後、該当する利用者がある場合には、切迫性、非代替性、一時的なものかを組織的に決定しながら丁寧に対応します。また、今年度は組合で身体拘束適正化検討委員会を設置し、担当窓口を設けています。</p>
--	--	-----	---	---	--